

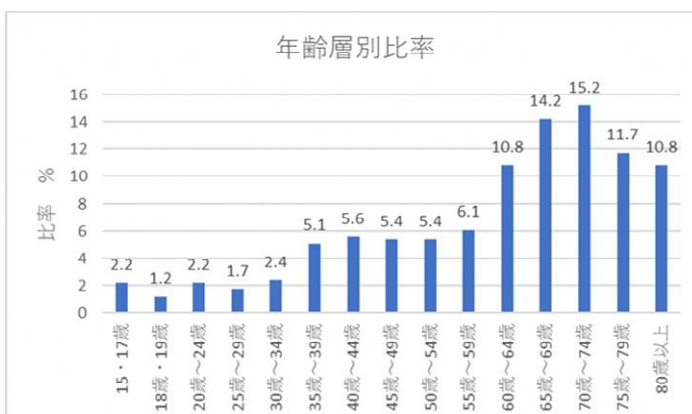
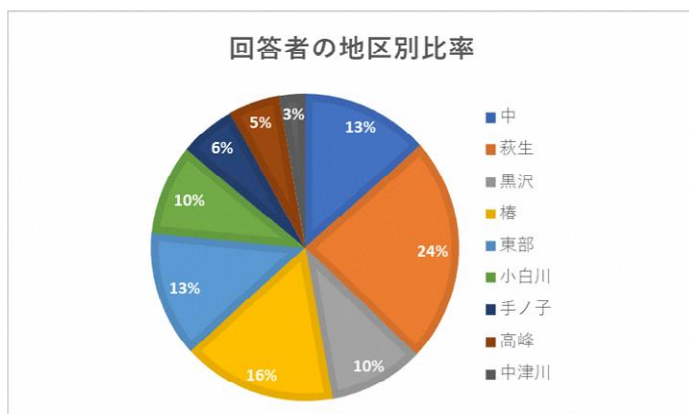
町民の幸福感に関するアンケート調査(令和6年度)の結果概要

町民の皆さんの「幸福」の思いを調査しました。小さな声や“つぶやき”をとらえ、“やっぱり、飯豊で幸せになる”明日を考えるヒントにしたいと思います。

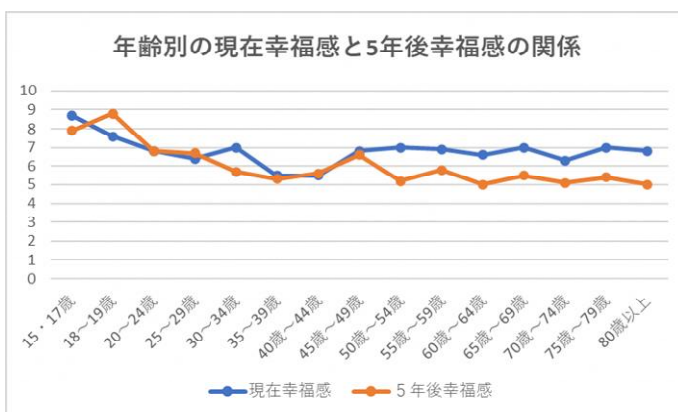
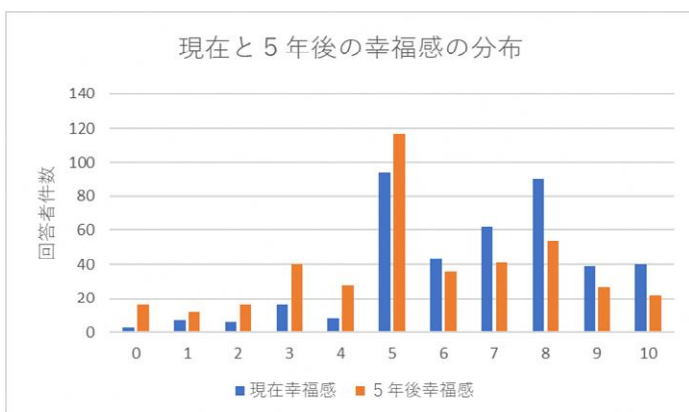
調査対象者は、令和6年4月1日現在で15歳以上の方です。その中から、年代別・性別・地区別を考慮し無作為に1,000人を抽出し調査を実施しました。

1. アンケート回答者の特徴

地区名	中	萩生	黒沢	椿	東部	小白川	手ノ子	高峰	中津川	合計
配布数	126	231	74	167	149	85	78	43	31	984
回答数	55	97	41	66	54	39	24	22	11	409
地区別回答率	44%	42%	55%	40%	36%	46%	31%	51%	35%	42%
回答者比率	13%	24%	10%	16%	13%	10%	6%	5%	3%	100%



2. 町民の幸福感



現在と5年後の幸福感を「0：まったく思わない」～「10：おいに思う」までの11段階で質問した結果、「現在幸福感」の平均は6.7であった。6.0以上を幸福とすると67%が幸福と感じている。「5年後幸福感」の平均は5.5に低下し幸福と思う人は44%と過半数を割り込む。ただし、19歳以下は現在及び5年後の幸福感が高い傾向にある。気になる点は現在幸福感で30歳代後半から40歳代前半の幸福感が低下し5.0代となる。年齢別では緩いU字カーブとなり、「就職氷河期世代」で、厳しい社会と直面した年齢層とも思われる。50歳以上でも、現在幸福感より1.5～2.0程度、5年後幸福感が低下し不安を抱いていると思われる。

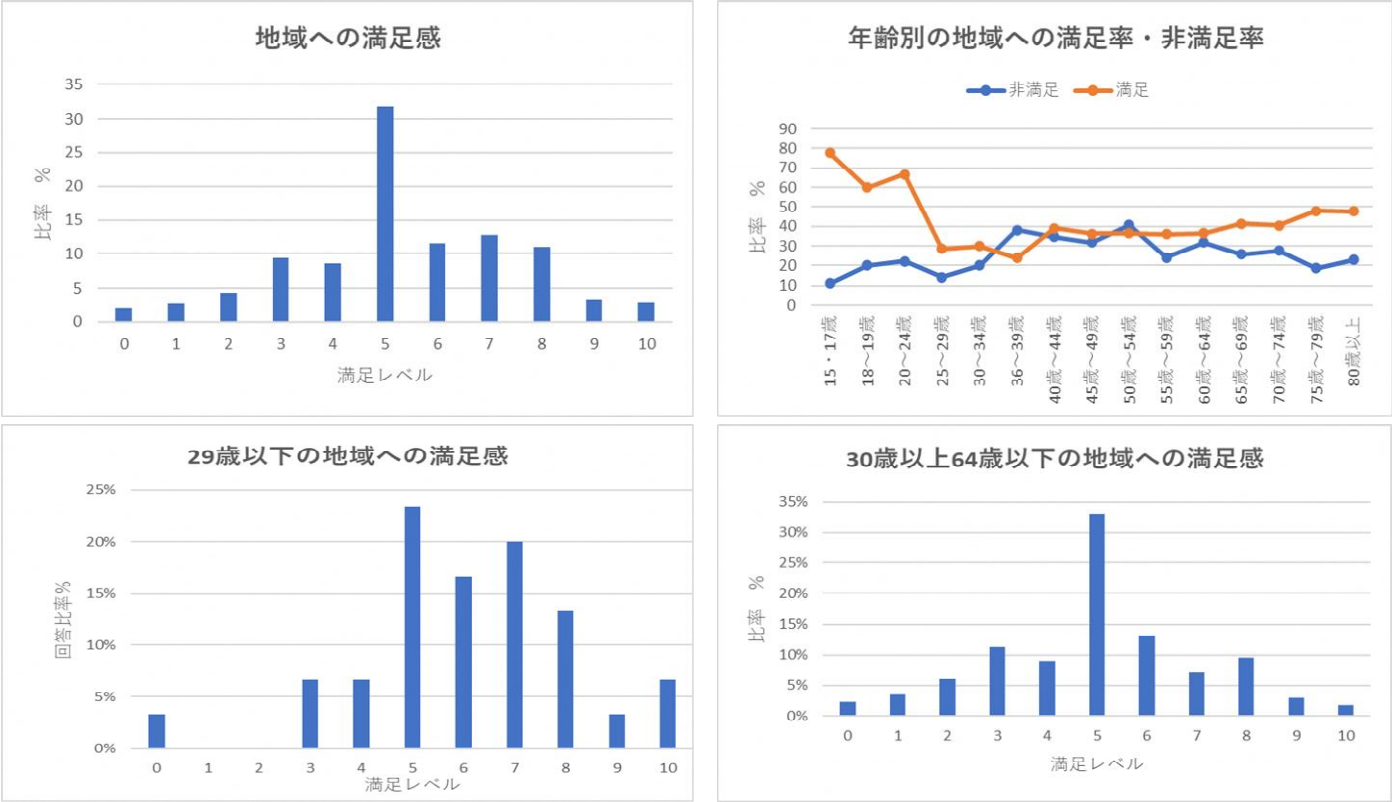
➤ 分野毎幸福感設問の凡例説明

「健康・福祉」で9項目、「子育て・教育」で10項目、「仕事・家計」で9項目、「暮らし・安全安心」で11項目、「地域・生涯学習」で11項目、「景観・自然・文化」で10項目で、合計6分野で60項目での幸福感（「0：まったく思わない」～「10：おいに思う」までの11段階）を質問している。なお、各分野での最後の項目は、その分野の総合的な評価項目として設定している。

健康・福祉	健康・福祉1	1. 現在、健康だと思いますか
	健康・福祉2	2. 体を動かすことや運動をすることができると思いますか
	健康・福祉3	3. 健康的な食生活を送っていると思いますか
	健康・福祉4	4. 体を休めることができていると思いますか
	健康・福祉5	5. 心を休めることができていると思いますか
	健康・福祉6	6. 飯豊町では高齢者や障がい者が安心して暮らしていると思いますか
	健康・福祉7	7. 日常生活を送るうえで、介助を必要とせずに日常生活を一人できると思いますか
	健康・福祉8	8. 身近に頼れる医療機関が充実していると思いますか
	健康・福祉9	9. 心身ともに健康的な生活を送っていると思いますか（健康・福祉の総合評価）
子育て・教育	子育て・教育1	1. 子育てにやりがいや喜びを感じると思いますか
	子育て・教育2	2. 親子のコミュニケーションが取れていると思いますか
	子育て・教育3	3. 自分が望む子育てができる環境があると思いますか
	子育て・教育4	4. お子さんは、いきいきと健やかに成長していると思いますか
	子育て・教育5	5. 家族は、子育てに理解や協力があると思いますか
	子育て・教育6	6. 地域に子育て家庭に対する理解や協力があると思いますか
	子育て・教育7	7. 飯豊町には、子育て・教育について相談できる施設や場所及び方法があると思いますか（民間か行政かを問いません）
	子育て・教育8	8. 飯豊町には、子育て・教育のための施設（遊び場・図書館・塾や習い事の間など）は十分であると思いますか（民間か行政かを問いません）
	子育て・教育9	9. 飯豊町で育ったお子さんは、将来的に飯豊町での暮らしを望むと思いますか（飯豊町に暮らし続けること、また、Uターンして飯豊町に戻って来ることを含みます。また、飯豊町に転入された方についても、お子さんが飯豊町で育ったと仮定して記載ください）
	子育て・教育10	10. 自然豊かな農村地域の暮らしは子どもの成長に良い影響を与えていると思いますか（子育て・教育の総合評価）
仕事・家計	仕事・家計1	1. 生活を送るための適切な収入を得ていくための機会があると思いますか
	仕事・家計2	2. 仕事と生活とのバランスが取れていると思いますか（専業の主婦・主夫の方は、家事等を仕事と考えて、学生の方は、学業を仕事と考えてお答えください。）
	仕事・家計3	3. 仕事にやりがいや充実感を感じると思いますか（専業の主婦・主夫の方は、家事等を仕事と考えて、学生の方は、学業を仕事と考えてお答えください。）
	仕事・家計4	4. 飯豊町に暮らしていて、やりたい仕事を見つけやすいと思いますか
	仕事・家計5	5. 飯豊町の企業（工場、事業所、飲食店、商店など）は元気で活力があると思いますか
	仕事・家計6	6. 飯豊町では、田畑や森林、自然資源や地域資源（文化なども含めて）を活かした仕事に就けると思いますか
	仕事・家計7	7. あなたは仕事をするうえで、誰しもが平等だと思いますか（差別を感じない）
	仕事・家計8	8. あなたが目指すこと（就職、進学、研究、資格取得等）に、障壁や偏見なく向かう環境があると思いますか
	仕事・家計9	9. 希望の実現に向けた仕事に就き、経済的に不安のない暮らしを送り続けられると思いますか（仕事・家計の総合評価）

暮らし・安全安心	暮らし・安全安心1	1.三世代など多くの家族の暮らしに魅力を感じますか
	暮らし・安全安心2	2.買い物などの生活環境は、高齢者や障がい者にとってやさしいと思いますか
	暮らし・安全安心3	3.地域の中で困っている人を見かけたときに声をかけるなどの雰囲気を感じますか
	暮らし・安全安心4	4.お住いの地域は、買い物が便利だと思いますか
	暮らし・安全安心5	5.お住まいの地域は、交通の便が良いと思いますか
	暮らし・安全安心6	6.あなたは環境にやさしい暮らし(ごみの減量や節電など)をしていると思いますか
	暮らし・安全安心7	7.防犯や治安など、安全だと思いますか
	暮らし・安全安心8	8.災害に強いまちだと思いますか
	暮らし・安全安心9	9.自動車や自転車などの交通は安全だと思いますか
	暮らし・安全安心10	10.地域の環境は快適だと思いますか(ゴミの不法投棄がないことや心地よく散歩を楽しめる環境であることなど)
	暮らし・安全安心11	11.安心して暮らすことができますか(暮らし・安全安心の総合評価)
地域・生涯学習	地域・生涯学習1	1.あなたは、地域の中で自分の役割があると思いますか
	地域・生涯学習2	2.あなたは、同じ地域に住む人たちを信頼できると思いますか
	地域・生涯学習3	3.あなたの地域では、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気があると思いますか
	地域・生涯学習4	4.あなたの地域では、女性が活躍しやすい雰囲気があると思いますか
	地域・生涯学習5	5.あなたの地域では、若者が活躍しやすい雰囲気があると思いますか
	地域・生涯学習6	6.あなたの地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への住民参加が盛んだと思いますか
	地域・生涯学習7	7.あなたの地域は、移住者に対して優しいと思いますか
	地域・生涯学習8	8.飯豊町は生涯にわたって興味や関心のあることを学習し、取り組んでいける環境であると思いますか
	地域・生涯学習9	9.あなたの地域には、楽しい時間・心安らぐ時間を過ごせる場所があると思いますか
	地域・生涯学習10	10.自宅には、心地のいい居場所があると思いますか
	地域・生涯学習11	11.地域(地区・集落)の中での暮らしに温かさがあると思いますか(地域・生涯学習の総合評価)
景観・自然・文化	景観・自然・文化1	1.あなたの暮らしている地域の空気や水は澄んできれいだと思いますか
	景観・自然・文化2	2.農村の景観(散居集落・里山景観など)に魅力があると思いますか
	景観・自然・文化3	3.置賜白川などの河川や白川湖との触れ合いに魅力があると思いますか
	景観・自然・文化4	4.山や森林などの自然環境や田畑・生態系などを含めた農村環境に魅力があると思いますか
	景観・自然・文化5	5.あなたの暮らしている地域には、公園、川沿いや里山などで、心地よく歩ける場所があると思いますか
	景観・自然・文化6	6.飯豊町の祭りや伝統的な文化に誇りや愛着を感じますか
	景観・自然・文化7	7.地域文化や資源を活かした魅力的な町になっていると思いますか
	景観・自然・文化8	8.将来生まれてくる世代のために良い環境や歴史・文化を残したいと思いますか
	景観・自然・文化9	9.あなたの暮らしている地域(地区・集落)では、新たな文化や芸術の取組みに理解があると思いますか
	景観・自然・文化10	10.飯豊町の継承・維持されている景観や文化に誇りや愛着を感じますか(景観・自然・文化の総合評価)

3. 住んでいる地域の満足感



住んでいる地域の満足感は平均5.4で、6.0以上を満足とすると満足と感じている人は41%と過半数を割る。29歳以下の若年層は地域への満足感は6割と高く、高齢者層は4割程度である。30歳～64歳の年齢層の地域への満足感は35%で低い傾向にある。地域活動への負担感か、地域活動での何らかのジレンマを抱えているとも推察される。

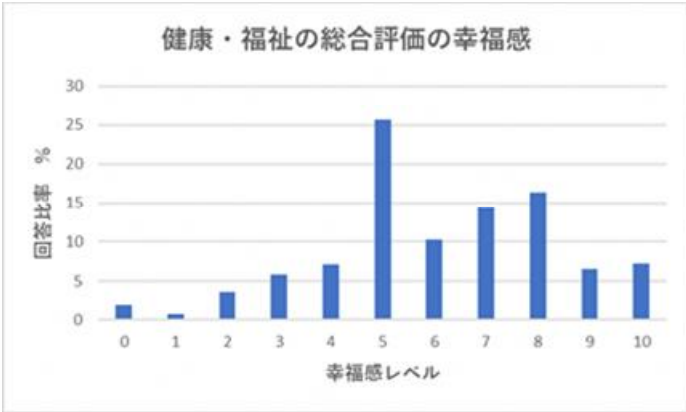
4. 6分野60項目での町民の幸福感

「健康・福祉」、「子育て・教育」、「仕事・家計」、「暮らし・安全安心」、「地域・生涯学習」、「景観・自然・文化」の6分野60項目(※P2, 3凡例参照)での幸福感を「0：まったく思わない」～「10：おおいに思う」までの11段階で回答してもらっている。以下で平均とは、各項目での幸福感の平均である。幸福率とは、6以上に回答した回答者の比率を表す。また、標準偏差とは、データ全体の平均値からのばらつき具合を示す指標で、標準偏差が大きいほどデータのばらつきが大きいことを示す。

①「健康・福祉」分野の幸福感

I 健康・福祉	健康・福祉1	健康・福祉2	健康・福祉3	健康・福祉4	健康・福祉5	健康・福祉6	健康・福祉7	健康・福祉8	健康・福祉9
平均	6.2	6.6	6.6	6.6	6.2	5.0	7.2	5.0	6.1
標準偏差	2.2	2.4	2.1	2.3	2.3	2.3	2.9	2.7	2.3

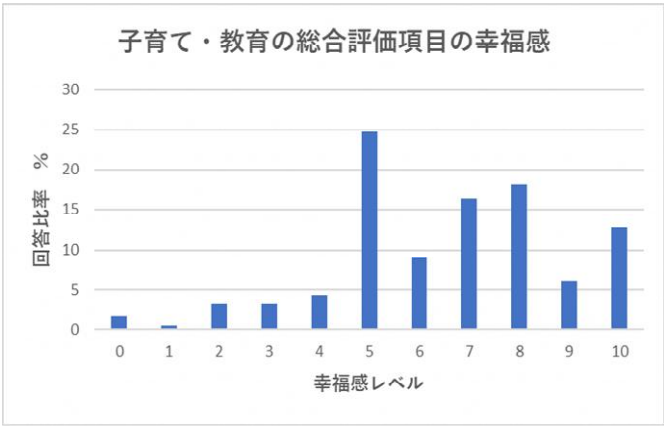
健康的な暮らしに関しては概ね満足傾向にあるが、高齢者・障がい者には十分な幸福感はなく、医療機関の不足による不満もある。



②「子育て・教育」分野の幸福感

Ⅱ子育て・教育	子育て・教育1	子育て・教育2	子育て・教育3	子育て・教育4	子育て・教育5	子育て・教育6	子育て・教育7	子育て・教育8	子育て・教育9	子育て・教育10
平均	6.6	6.8	5.2	6.8	7.1	5.9	4.9	3.8	3.6	6.5
標準偏差	2.5	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.4	2.2	2.4	2.3

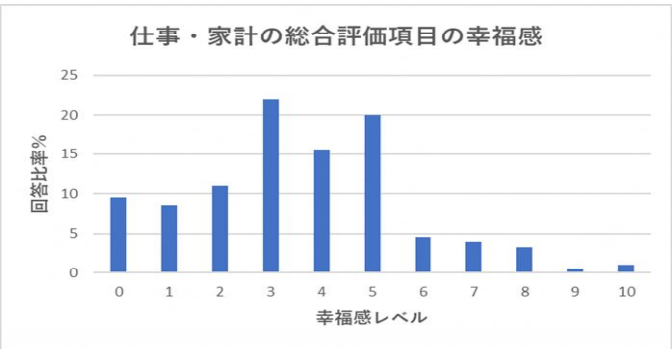
子育て・教育環境としての家庭環境は幸福感が比較的高いのに対して、町での子育て・教育環境に関しての不満が高い傾向にある。また、将来、子どもがUターンを含めて飯豊町で生活することへの期待感は乏しい。総合評価としての「10. 自然豊かな農村地域の暮らしは子どもの成長に良い影響を与える」は6.5であり、総合的には幸福感があるという傾向にあるが、高いといえる状況ではない。



③「仕事・家計」分野の幸福感

Ⅲ仕事・家計	仕事・家計1	仕事・家計2	仕事・家計3	仕事・家計4	仕事・家計5	仕事・家計6	仕事・家計7	仕事・家計8	仕事・家計9
平均	4.6	5.1	5.6	2.9	3.4	4.1	3.6	4.0	3.5
標準偏差	2.4	2.3	2.4	2.1	2.0	2.4	2.4	2.3	2.1

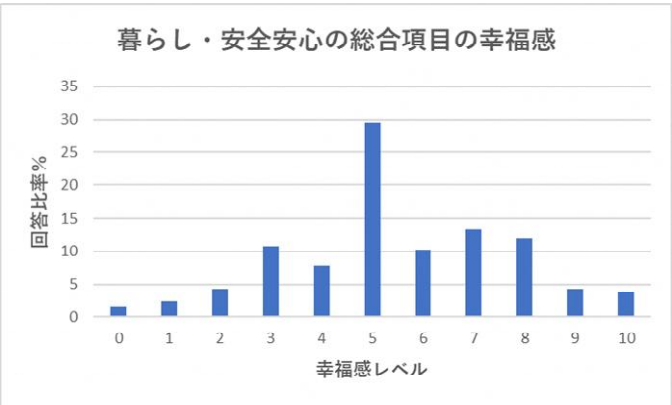
仕事・家計、経済に関する幸福感は、他の分野と比較して低い。この分野での総合評価の「9. 希望の実現に向けた仕事に就き、経済的に不安のない暮らしを送り続けられる」は3.5と低く、家計経済の持続性への不満（不安）が高い。その他、低い項目は、「4. 飯豊町に暮らしていて、やりたい仕事を見つけやすい」は2.9、「5. 飯豊町の企業（工場、事業所、飲食店、商店など）は元気で活力がある」は3.4と低く、仕事・職場環境の貧困さが指摘され、働き方環境、仕事のスキルアップ環境における不満がある。



④「暮らし・安全安心」分野の幸福感

Ⅳ暮らし・安全安心	暮らし・安全安心1	暮らし・安全安心2	暮らし・安全安心3	暮らし・安全安心4	暮らし・安全安心5	暮らし・安全安心6	暮らし・安全安心7	暮らし・安全安心8	暮らし・安全安心9	暮らし・安全安心10	暮らし・安全安心11
平均	5.2	2.8	4.7	2.6	2.3	5.8	5.7	4.0	4.9	5.5	5.5
標準偏差	2.8	2.2	2.3	2.4	2.4	2.3	2.2	2.3	2.1	2.2	2.2

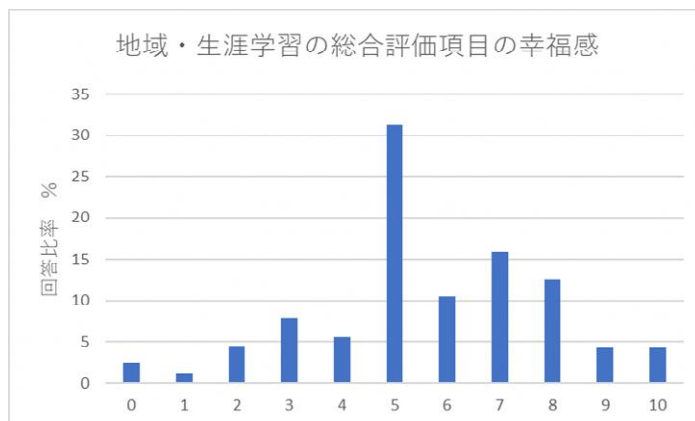
暮らし・安全安心の総合評価「11. 安心して暮らすことができる」は5.5で幸福感はそれほど高くない。買い物環境、交通利便性などの生活環境に関する幸福感は低い。自家用車を運転できない町民にとっての交通サービス環境の貧困さ、2022年及び2024年の豪雨災害の影響もあると思われるが自然災害を心配する意識が高い。



⑤「地域・生涯学習」分野の幸福度

V 地域・生涯学習	地域・生涯学習1	地域・生涯学習2	地域・生涯学習3	地域・生涯学習4	地域・生涯学習5	地域・生涯学習6	地域・生涯学習7	地域・生涯学習8	地域・生涯学習9	地域・生涯学習10	地域・生涯学習11
平均	4.4	5.6	4.6	4.4	4.4	4.8	5.4	4.3	4.4	7.3	5.7
標準偏差	2.6	2.2	2.3	2.2	2.3	2.3	2.2	2.2	2.4	2.2	2.2

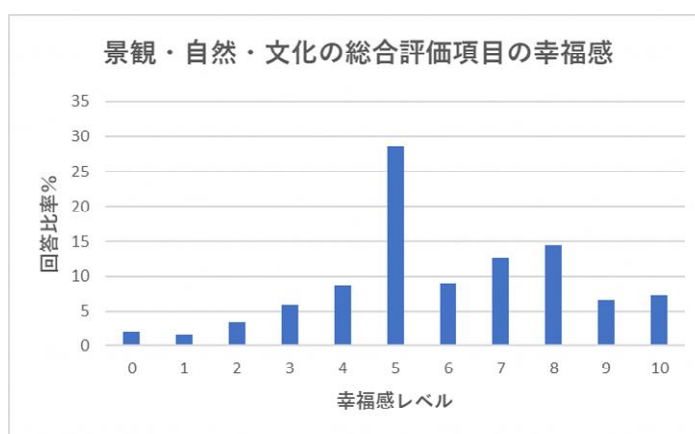
地域・生涯学習の総合評価「11. 地域（地区・集落）の中での暮らしに温かさがある」は5.7で5.0を超えてはいるが、幸福度はそれほど高くない。地域コミュニティの存在が町民にとっての心の安らぎにはそれほどなっていないのか、家庭が居心地のよい環境とも評価できるものの、地域コミュニティより家庭と考えると、都市的ライフスタイルの浸透ともいえなくはない。人間関係はある程度満足し、地域コミュニティの親和性に関しては多少評価されている。女性や若者が活躍しにくいこと、多様な意見への寛容性が弱い等の典型的な古い農村社会性が残存している状況が指摘できる。生涯学習環境の貧困さ、地域での活躍の場が確立できていない点も問題である。多様な世代、ジェンダーフリー、多様な価値観をもつ人々による地域コミュニティ育成が大きな課題となっている。



⑥「景観・自然・文化」分野の幸福度

VI 景観・自然・文化	景観・自然・文化1	景観・自然・文化2	景観・自然・文化3	景観・自然・文化4	景観・自然・文化5	景観・自然・文化6	景観・自然・文化7	景観・自然・文化8	景観・自然・文化9	景観・自然・文化10
平均	7.4	6.8	6.6	6.2	4.8	6.0	4.9	7.1	4.8	5.9
標準偏差	2.3	2.4	2.4	2.4	2.6	2.5	2.2	2.2	2.3	2.3

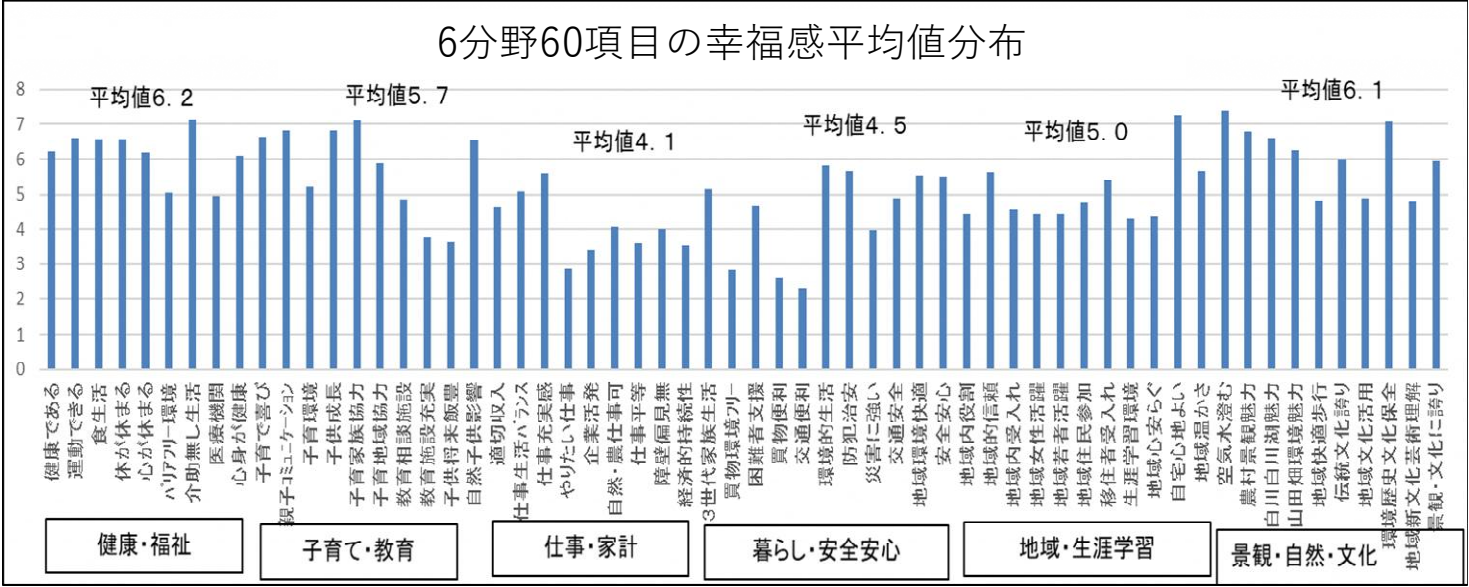
景観・自然・文化の総合評価「10. 飯豊町の継承・維持されている景観や文化に誇りや愛着を感じる」は5.9で、幸福感はいくらか高いといえる。個別の項目でも幸福感や意欲は比較的高い傾向にある。地域生活環境レベルでの自然との親和性のある環境づくりは今後の重要なテーマとなる。歴史文化の幸福感は自然環境より低下する。



歴史文化的資源はあるのに対して、十分に評価活用されていないという意識と受けとめることもできる。革新性に対する地域での理解が低く、新たな文化芸術活動への理解を地域で深める、地域コミュニティでの文化に対する柔軟性が求められる。

⑦6分野60項目での幸福感の平均点の比較

6分野60項目の幸福感を平均で比較すると、平均が高い順では、健康・福祉＞景観・自然・文化＞子育て・教育＞地域・生涯学習＞暮らし・安全安心＞仕事・家計の順となる。



⑧60項目での幸福感の評価

各項目で6以上に回答した人を幸福感が高い人とすると、回答者数の50%以上の方が幸福と思っている項目は22項目（60項目中37%）である。自然環境が豊かな田園地域で、自宅で心地よく健康で、家族との協力した子育てに、町民の7割が幸福と感じていると評価できる。

6分野60項目での幸福率50%以上の項目順

項目内容	空気水 澄む	自宅心地 よい	子育て家族 協力	環境歴史 文化保全	介助無し 生活	子供成長	農村景 観魅力	食生活	親子コミュ ニケーション	運動 できる	白川白川 湖魅力
幸福 比率%	78	75	72	72	71	69	68	67	67	65	65
項目内容	体が 休まる	自然子 供影響	子育て 喜び	健康で ある	心が 休まる	山田畑 環境魅力	心身が 健康	伝統文 化誇り	子育て地 域協力	景観文化 に誇り	環境的 生活
幸福 比率%	64	62	62	59	59	58	55	54	52	50	50

幸福率が50%未満は38項目（60項目中63%）である。やりたい仕事、交通買物の便利さ、企業活動の活発、経済的な持続性に関して、町民は幸福感が低いと評価できる。

6分野60項目での幸福率50%未満の項目順

項目内容	地域的 信頼	地域 温かさ	仕事 充実感	防犯 治安	地域環 境快適	安全 安心	3世代 家族生	移住者 受入れ	子育て 環境	医療 機関	バリアフリー 環境	仕事生 活バラン	困難者 支援	地域快 適歩行	教育相 互	地域文 化活用	適切 収入	地域住 民参加	地域新文 化芸術理
幸福 比率%	49	47	47	46	45	44	42	41	40	39	39	37	35	35	34	33	32	32	31
項目内容	地域内 役割	交通 安全	地域内 受入れ	地域若 者活躍	地域女 性活躍	地域心 安らぐ	自然・ 農仕事	生涯学 習環境	教育施 設充実	仕事障 壁見無	災害に 強い	子供将 来飯豊	仕事 平等	経済的 持続性	買物 便利	企業 活発	買物環 境7-11	交通 便利	やりた い仕事
幸福 比率%	30	29	29	28	27	27	23	22	19	19	19	16	16	13	12	10	10	9	8

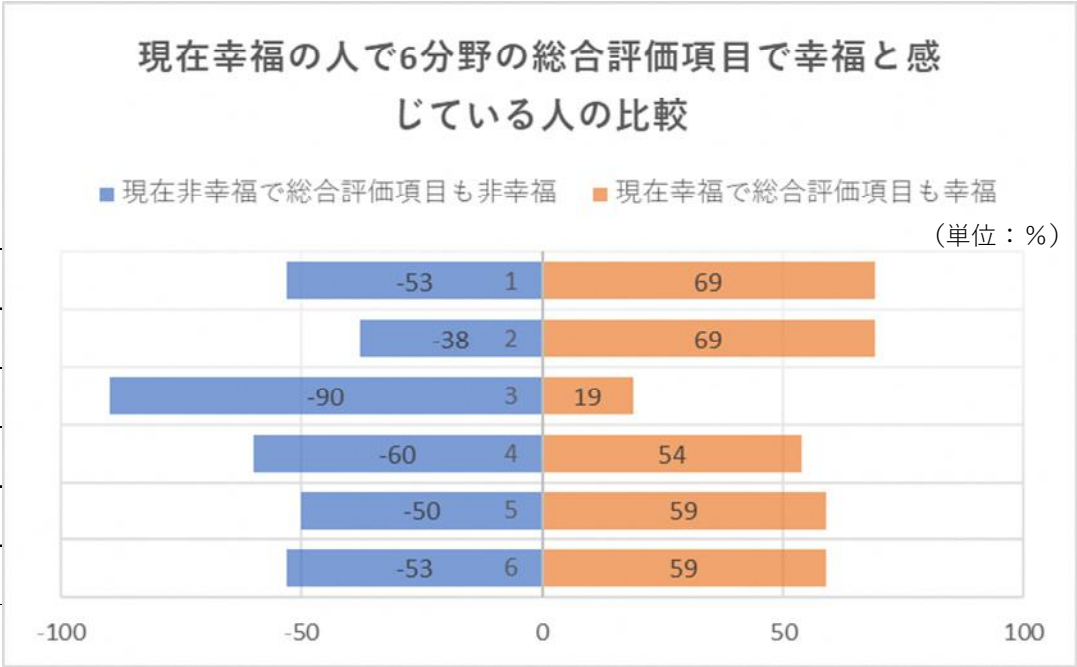
【参考】日本人で幸せを感じる人は60%！

世界30か国での国民の「幸せ感」調査(2025年イプソス調査)で、日本人は60%で27位。イプソス調査では日本人の幸せの要因の1位は「家族との関係(41%)」、幸せではない要因の1位は「経済的な状況(64%)」となった。飯豊町の傾向と似ている。

5. 現在幸福感と6分野幸福感との関係

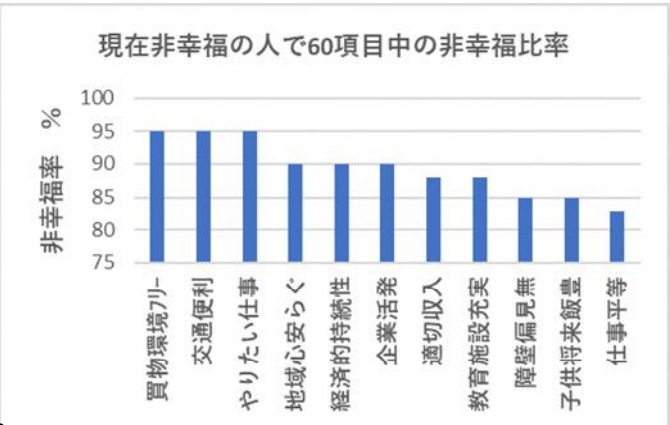
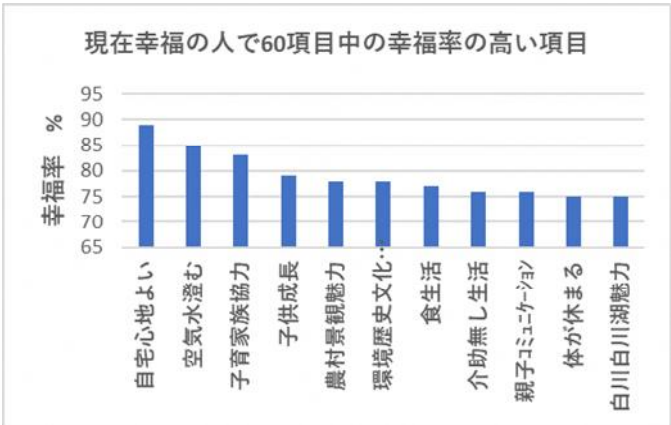
現在幸福の数値が6以上と回答した人は、何をもって幸福と感じているのかをアンケートから推察した。現在幸福・非幸福別での要因を6分野の総合評価項目での幸福感で比較した。幸福な人は子育て環境や健康に満足し、非幸福の人は経済的持続性に不満であることが読み取れる。

1	心身が健康
2	自然子供影響
3	経済的持続性
4	暮らし安全安心
5	地域温かさ
6	景観・文化に誇り



現在幸福と感じる上位の要因は、「自宅に心地のいい居場所があること」、「暮らしている地域の空気や水が澄んできれいなこと」、「家族が子育てに理解や協力があること」である。

現在非幸福と感じる上位の要因は、「買い物などの生活環境が高齢者や障がい者にとって優しいと思うこと」、「交通の便が良いこと」、「飯豊町に暮らしていて、やりたい仕事を見つけやすいこと」への不満である。これらの改善が求められている。

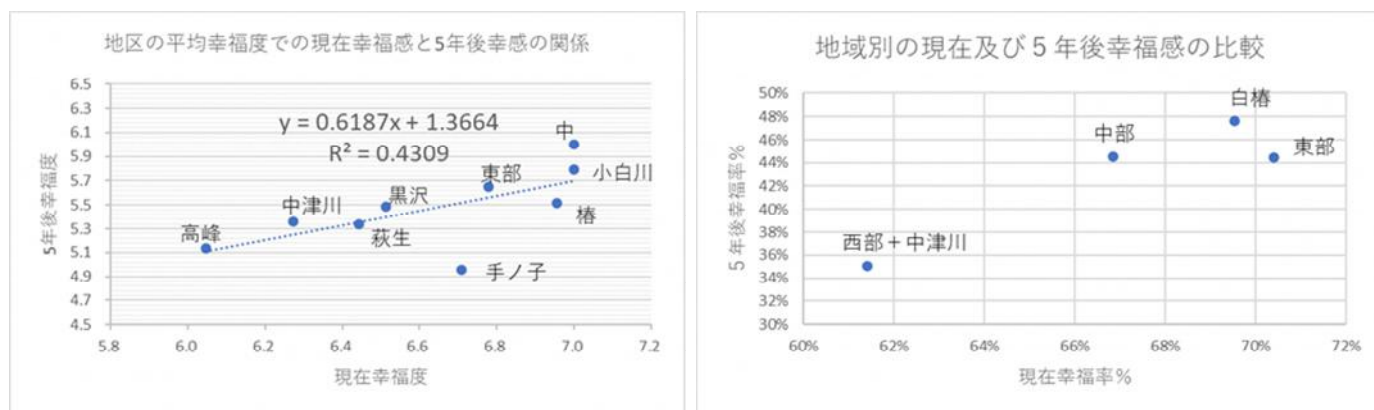


6. 地域別での幸福感と6分野幸福感

①現在幸福感と5年後幸福感の地域別比較

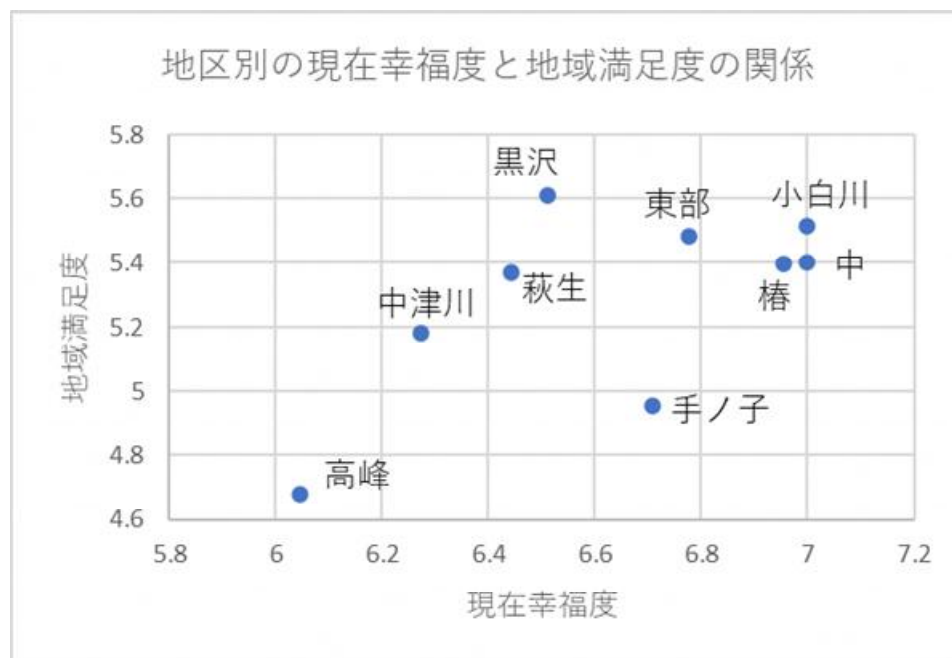
現在の幸福感と5年後の幸福感を地域別で比較した。現在幸福感の高い順では、中＝小白川＞椿＞東部＞手ノ子＞黒沢＞萩生＞中津川＞高峰である。5年後幸福感は、中＞小白川＞東部＞椿＝黒沢＞中津川＝萩生＞高峰＞手ノ子である。手ノ子の5年後幸福感が現在と比較して著しく低下することが気になる。また、平地の人口が一番多い萩生と中山間地域の中津川の幸福感が近似している点は大変興味深い。

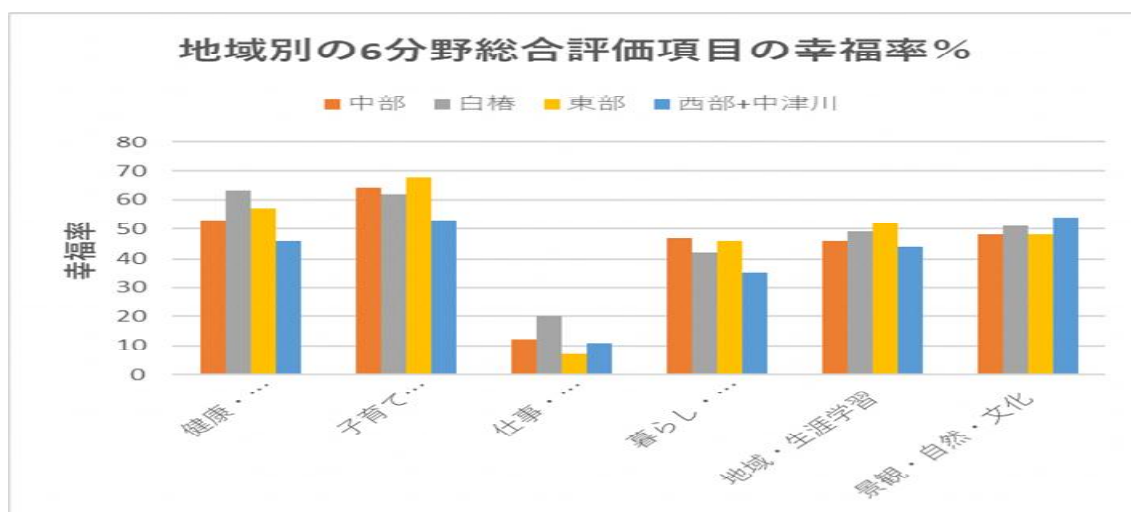
まちづくりセンター単位で地域別で比較した。サンプル数が少ない西部と中津川は一緒にして4地域で比較する。中部・東部・白椿はひとつのまとまりで、西部・中津川は分離している。現在幸福と思う人は全ての地域で6割は超えているが、5年後の幸福感で差がでている。



②地域満足感と現在幸福感の関係

住んでいる地域の満足感の高い地区順は、黒沢＞小白川＞東部＞中＝椿＝萩生＞中津川＞手ノ子＞高峰の順である。相対的には手ノ子、高峰、中津川での地域満足感が低い点が課題といえる。特に、高峰、手ノ子の西部地区の地域満足感が5.0より低い点は今後のコミュニティ活動の重要性を強く認識し、多様な意見交換の場の必要性を指摘できる。地域満足感と現在幸福感の関係をみると、小白川、中、椿、東部地区は幸福感と満足感で高い傾向にある。手ノ子は地域満足感が高くはないが、現在幸福感は高いといえる。高峰は両方とも低い傾向にある。





③まちづくりセンター別での6分野総合評価の幸福率の特徴

6分野の総合評価での幸福率（6点以上の比率）をまちづくりセンター別で比較する。西部地区と中津川地区は一緒にした。各分野で幸福率の一番を見る。健康・福祉分野は白樺地区、子育て・教育分野は東部地区、仕事・家計分野は白樺地区、暮らし・安全安心分野は中部地区、地域・生涯学習分野は東部地区、景観・自然・文化分野は西部地区・中津川地区である。

④9地区の60項目における幸福率の特徴

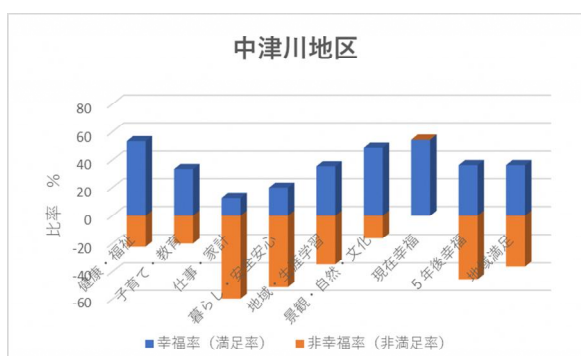
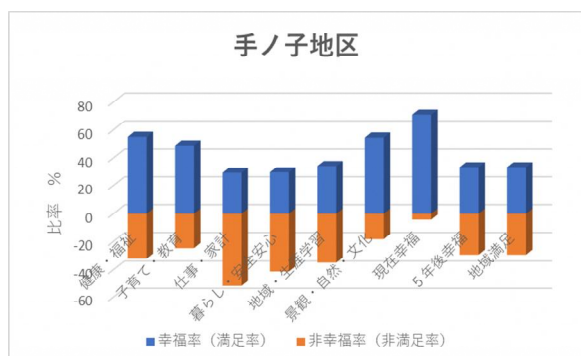
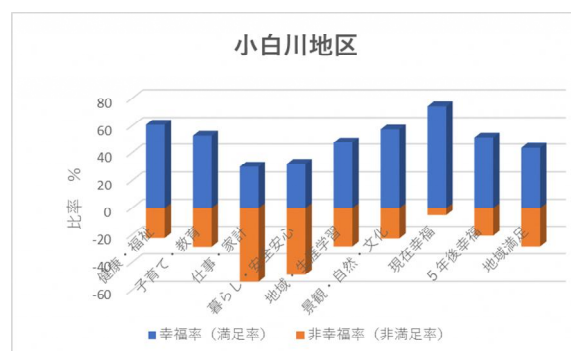
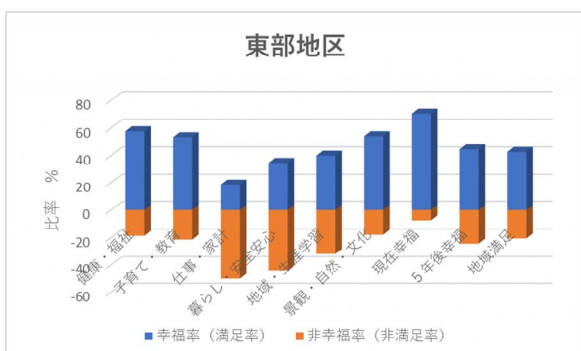
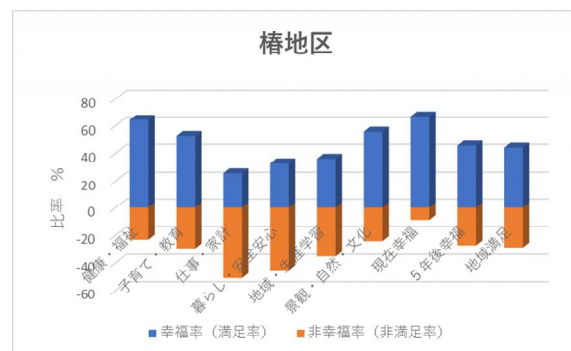
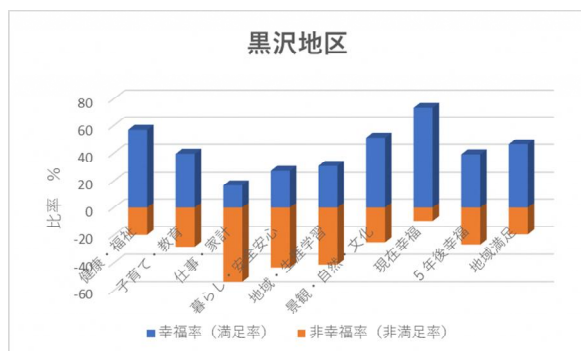
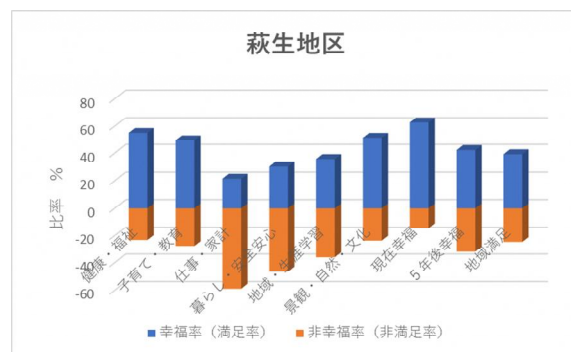
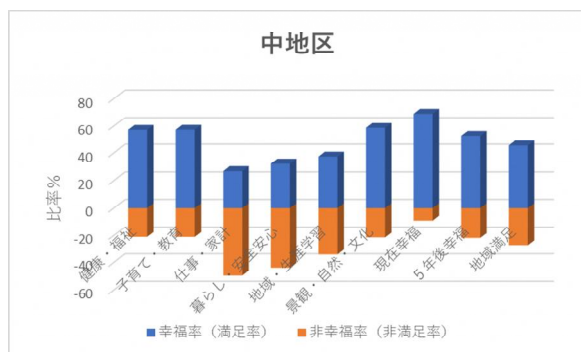
幸福率の1位では空気水が澄むが中、萩生、黒沢、中津川地区、自宅に心地よい場所があるが東部地区と手ノ子地区、子育ての家族協力が樺地区、介助無しでの生活ができるが小白川地区である。中地区の幸福感受率が高いが萩生地区は低い。高峰地区は、環境歴史文化の保全や景観、中津川地区は、食生活、白川・白川湖の魅力、移住者受入れでの幸福率が高い。

4点以下の非幸福率は、9地区とも交通便利や買い物環境、やりたい仕事に関する非幸福率が上位で、手ノ子、高峰、中津川地区での非幸福率が高い傾向にある。高峰地区は仕事・家計の総合評価項目である「経済的持続性」の非幸福率が高い。

地区別での60項目の幸福率の上位3位の項目と幸福率（%）							
中		萩生		黒沢		樺	
空気水澄む	84	空気水澄む	75	空気水澄む	81	子育て家族協力	79
子育て家族協力	84	環境歴史文化保全	75	介助無し生活	76	自宅心地よい	79
子供成長	80	介助無し生活	70	自宅心地よい	73	親子コミュニケーション	77
		子育て家族協力	70				
小白川		手ノ子		高峰		中津川	
介助無し生活	80	自宅心地よい	83	環境歴史文化保全	82	空気水澄む	100
自宅心地よい	79	空気水澄む	79	空気水澄む	82	食生活	73
環境歴史文化保全	79	子育て家族協力	79	自宅心地よい	73	白川白川湖魅力	73
				農村景観魅力	73	体が休まる	73
						移住者受入れ	73
地区別での60項目の非幸福率（4点以下の比率）の上位3位の項目と非幸福率（%）							
中		萩生		黒沢		樺	
交通便利	89	交通便利	80	交通便利	81	交通便利	83
買い物便利	86	買い物環境バリアフリー	79	やりたい仕事	76	買い物便利	80
買い物環境バリアフリー	75	やりたい仕事	79	買い物便利	71	やりたい仕事	79
小白川		手ノ子		高峰		中津川	
交通便利	82	買い物便利	96	経済的持続性	91	買い物便利	91
買い物便利	80	交通便利	79	買い物環境バリアフリー	86	交通便利	91
買い物環境バリアフリー	79	買い物環境バリアフリー	79	買い物便利	86	買い物環境バリアフリー	82
				教育施設充実	86	やりたい仕事	82
				交通便利	86		

⑤9地区での6分野の幸福感平均と現在・5年後・地域の幸福感での幸福率と非幸福率の比較

9地区別で6分野と現在・5年後・地域の満足感（全部で9項目）での平均の幸福率（満足率）と非幸福率（非満足率）を図化した。9地区とも比率傾向は同様であるが、小白川地区と中地区の幸福率が高い傾向にある。高峰地区の幸福率が低い傾向にある。



★図の見方

青は幸福率（満足率）（0～10点で6点以上の比率%）。赤は非幸福率（非満足率）（4点以下の比率%）。青が大きい項目は幸福感（満足感）が高い。赤が大きい項目は幸福感（満足感）が低い。

9地区の棒グラフの項目は、左から健康・福祉、子育て・教育、仕事・家計、暮らし・安全安心、地域・生涯学習、景観・自然・文化、現在幸福、5年後幸福、地域満足です。

町民の幸福感に関するアンケート調査（令和6年度）の結果概要

発行／令和7年7月 飯豊町

結果分析・編集／一般社団法人いいで農村未来研究所